

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成 26 年 9 月 11 日 (2014.9.11)

【公表番号】特表 2013-541678 (P2013-541678A)

【公表日】平成 25 年 11 月 14 日 (2013.11.14)

【年通号数】公開・登録公報 2013-062

【出願番号】特願 2013-527514 (P2013-527514)

【国際特許分類】

F 1 6 B 7/18 (2006.01)

F 1 6 B 7/02 (2006.01)

B 6 2 D 7/16 (2006.01)

B 6 2 D 7/08 (2006.01)

B 6 0 G 7/02 (2006.01)

【F I】

F 1 6 B 7/18 A

F 1 6 B 7/02

B 6 2 D 7/16

B 6 2 D 7/08 Z

B 6 0 G 7/02

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 7 月 23 日 (2014.7.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

本質的にチューブ状のストラット (1) の終端領域とネジ付ボルト (2) を有する、アッセンブリ又は部品を連結するためのストラット要素の締付け接手において、

チューブ状のストラット (1) の終端領域の、ネジ付ボルト (2) とストラット (1) の内部横断面間の半径方向の環状間隙内に配設された、円錐形の外ネジ (8) とネジ付ボルト (2) に対応する内ネジ (12) とを有するネジ付スリーブ (6) が設けられており、ストラットエンド (5) が、ネジ付スリーブ (6) の外ネジ (8) に対応する円錐形の内ネジ (11) を備え、ネジ付スリーブ (6) が、少なくともそのストラット側の終端部 (14) の領域を、半径方向に弾性的に形成されていること、を特徴とする締付け接手。

【請求項 2】

ネジ付スリーブ (6) の外ネジ (8) 及び / 又はストラット (1) の内ネジ (11) が、部分円錐状に形成されていること、を特徴とする請求項 1 に記載の締付け接手。

【請求項 3】

ストラットの内ネジ (11) とネジ付スリーブの外ネジ (8) の円錐角度が、同じ大きさであること、を特徴とする請求項 2 に記載の締付け接手。

【請求項 4】

ネジ付スリーブ (6) が、そのストラット側の終端部 (14) の領域に、少なくとも 1 つの半径方向のスリット (13) を備えること、を特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 つに記載の締付け接手。

【請求項 5】

ネジ付スリーブ (6) が、そのストラット側の終端部 (14) の領域に、その周囲に沿

って均等に分配された複数の半径方向のスリット（１３）を備えること、を特徴とする請求項１～４のいずれか１つに記載の締付け接手。

【請求項６】

ネジ付スリーブ（６）の少なくとも１つの半径方向のスリット（１３）の軸方向の長さが、ネジ付スリーブ（６）の長さの半分より大きいこと、を特徴とする請求項４又は５に記載の締付け接手。

【請求項７】

ネジ付スリーブ（６）の少なくとも１つの半径方向のスリット（１３）の軸方向の長さが、ネジ付スリーブ（６）の長さの３分の２より大きいこと、を特徴とする請求項６に記載の締付け接手。

【請求項８】

ネジ付スリーブ（６）が、少なくとも１つのスパナ面（１０）を有するフランジ領域を備えること、を特徴とする請求項１～７のいずれか１つに記載の締付け接手。

【請求項９】

ストラット（１）が、少なくとも１つのスパナ面（９）を有するスパナ領域を備えること、を特徴とする請求項１～８のいずれか１つに記載の締付け接手。

【請求項１０】

ストラット（１）の外周のネジ付スリーブ（６）との結合領域（５）に、補強リング（７）が配設されていること、を特徴とする請求項１～９のいずれか１つに記載の締付け接手。

【請求項１１】

少なくとも１つのストラット側のスパナ面（９）が、補強リング（７）に配設されていること、を特徴とする請求項９又は１０に記載の締付け接手。

【請求項１２】

ネジ付スリーブ（６）の外ネジ（８）と内ネジ（１２）のネジピッチが、同じ大きさであること、を特徴とする請求項１～１１のいずれか１つに記載の締付け接手。

【請求項１３】

外ネジ（８）及び／又は内ネジ（１２）が、融着によるネジ固定部によって固定されていること、を特徴とする請求項１～１２のいずれか１つに記載の締付け接手。

【請求項１４】

ネジ付ボルト（２）が、ストラット要素の軸受部品（４）の一部であること、を特徴とする請求項１～１３のいずれか１つに記載の締付け接手。

【請求項１５】

締付け接手が、シャシ部品を連結するためのストラット、例えばステアリングロッド又はタイロッドの一部であること、を特徴とする請求項１～１４のいずれか１つに記載の締付け接手。